

平成30年度

上真野小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 佐藤 菜摘

1 学校図書館の概要

学校の紹介

耐震工事を終えて5年目の図書室である。児童・先生方共に利用が頻繁であり、貸出返却作業の他に読み聞かせやブックトークを行うなど、図書委員会の活動も活発である。

平成30年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	なかよし	合計
10名	15名	18名	16名	19名	16名	2名	96名

(平成31年3月末時点)

図書担当教員 高崎玲子先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 7,175点

学校図書館受入点数(3月末時点) 173点

うち 市費購入点数及び金額 143点(222,280円)

うち 寄贈資料点数 30点

2 平成30年度の課題及び目標

- 課題1 希望があった学年のみ学級文庫の入れ替えを行っているため、全学年を対象に行う必要がある。
- 課題2 調べ学習、閲覧共に新聞の利用が少なく、設置場所や利用を促すはたらきかけが必要である。
- 課題3 昨年度から始まった電算化作業を引き続き行う。

- 目標1 学級文庫の入れ替えは、月に一度ないしは二月に一度行うこととする。基本的に学校図書館支援員が選書を行うが、児童が自分達で入れ替えを行いたい場合は担任の先生と相談し、偏りがないように助言を行う。
- 目標2 従来の設置場所である図書室の前には最新一週間分を置き、バックナンバーは高学年の廊下に設置する。また、新聞を使ったクイズ企画を行う。
- 目標3 年度内に登録作業を終了させ、来年度からシステムを利用した貸出返却を行えるように準備を進める。

3 活動の方針

- ・年度初めに、新しく赴任してこられた先生方への自己紹介も兼ねて、先生方全員に支援員の派遣曜日や支援員として行えることについてまとめたプリントを配布する。
- ・学期ごとに個人貸出冊数を集計して、貸出数が多かった上位5名に多読賞として賞状の授与を行う。
- ・発行年が古く調べ学習の資料としてふさわしくないものや、著しく破損しているものは除籍の対象とし、計画的に除籍作業を進めていく。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	生徒図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・担当の先生との打ち合わせ ・利用オリエンテーション（～5月） ・学級文庫設置	・図書の貸出準備 ・委員会集会 ・貸出開始	・学校図書館支援員会議 ・図書の借用開始 ・学校司書との打ち合わせ（月1回程度、～3月）
5月	・市費購入図書選書開始	・本の貸出、書架整理（～2月） ・スタンプラリー企画開始	
6月	・ブックトーク（5年生） ・課題図書の購入、受入	・おはなし会練習 ・おはなし会実施	
7月	・夏休み貸出	・課題図書の紹介 ・未返却図書の督促	・子どもとしゃかんだより配布 ・子どもの読書に関するネットワークフォーラム参加
8月	・図書、雑誌廃棄作業		
9月	・夏休み貸出返却対応	・おすすめ本の紹介	
10月	・図書の発注		・施設見学（2年生）
11月	・図書の受入	・おはなし会練習 ・おはなし会実施	
12月	・ブックトーク（5年生） ・冬休み貸出	・未返却図書の督促	・子どもとしゃかんだより配布
1月	・冬休み貸出返却対応	・ポスター作り	
2月	・未返却児童への呼びかけ、督促	・未返却図書の督促	・子どもとしゃかんだより配布
3月	・司書業務についての卒業記念授業（6年生）		

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4月

- ・全学年を対象にオリエンテーションを行った。昨年度同様、ゲームを通し日本十進分類法について説明を行い、その後分類法に基づいた配架について説明しながら図書室内を案内した。今年度は、最後にクイズも追加し、貸出を行っている時間や貸出期間などオリエンテーション内で説明したことを復習する時間を設け、ルールのお知らせを図った。（写真1）



写真1

オリエンテーション後に読書を楽しむ児童達

5月～7月

- ・スタンプラリー企画開始。本を1冊借りるごとにスタンプが1つ貯まり、10個集めると図書委員会が作成した折り紙や切り絵などのプレゼントがもらえる特典を付けた。低学年を中心に人気の企画になり、3月まで継続して行うことになった。(写真2)



写真2

図書委員会で作成したスタンプラリー台紙

- ・5年生を対象にブックトークを行った。テーマは「職人とのものづくり」で、国語の単元に合わせ関連書や学校図書館支援員がテーマに基づいて選んだ本を紹介した。(写真4)



写真3

ブックトークで紹介した本

- ・雑誌コーナーとして使っていた棚を入口近くに移動させ、新たにテーブルを増設した。窓の一部を塞いでいた棚が動き、日光がより差し込むようになり、より広く明るい印象の図書室となった。新しいテーブルは児童達の間で人気になり、このテーブルを利用して読書をする姿が多く見られた。
(写真4)



写真4

新しいテーブルで読書をする児童達

9～12月

- ・新聞コーナーを図書室前と高学年教室前の廊下の2つ設けた。最新1週間分は図書室前に設置し、1週間過ぎたものを高学年教室前に移動させ、気になる記事に付箋紙で自由にコメントを残せるようにした。(写真5)



写真5

高学年教室前の新聞コーナー

・2年生を対象に中央図書館の施設案内と読み聞かせを行った。時間をかけて館内を見ることができ、児童達はとても喜んでいただいていた様子だった。(写真6)



写真6

見学でわかったことをノートに記入する
児童達

・児童達の投票で人気の雑誌を決める「上真野小(KMS)雑誌総選挙」を行った。今年度購読した雑誌の中から3つ好きなものを選んで投票してもらい、投票数の多かった上位3つの雑誌は来年度も必ず購入することとした。投票開始日からたくさんの児童が集まり、支援員に質問したり実物を読んだりしながら投票していく姿が見られた。投票は1ヶ月間行い、結果と上位に選ばれた雑誌は図書室前に掲示、展示した。(写真7)



写真7

投票する児童達の様子

1～3月

・カウンターとして利用していた机を、児童達が利用するテーブルとして増設した。また、図書室後方のあまり日が差さない場所の椅子をテーブルに合わせて移動させた。これにより、調べ学習等で利用できるスペースが多くなった。(写真8)



写真8名

増設したテーブル

5 中央図書館からのサポート内容

- ・図書の発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 81点／年
- ・書架移動の相談のため、図書館職員が来校した。

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数 (単位：点)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総合計
年間合計	379	310	201	347	449	204	1890
一人あたり	37.9	20.7	11.2	20.4	23.6	12	19.7
一人あたりの昨年度比	130%	125%	53%	126%	151%	42%	96%

※1 夏休み・冬休みの長期貸出も含む。

※2 支援学級の児童の貸出数は、各学年の貸出数に含む。

② 学級文庫貸出点数 (単位：点)

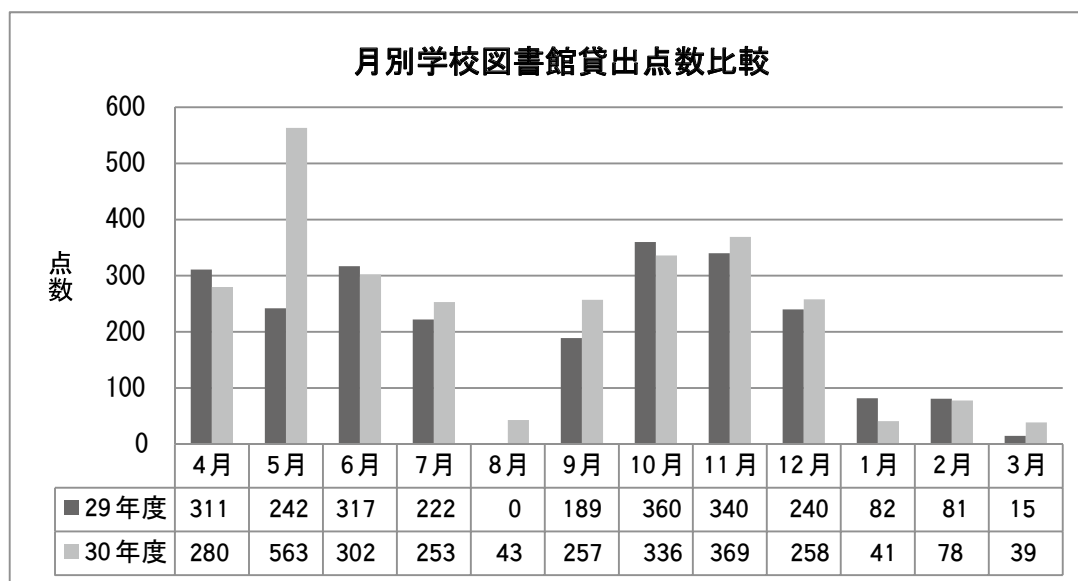
	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	支援学級	総合計
学年合計	80	80	80	320	80	80	40	760

③ 調べ学習等貸出点数 (単位：点)

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	30	22	25	34	27	31	169
昨年度比	60%	110%	125%	340%	270%	135%	98%

（２）学校図書館利用実績比較

表 月別貸出点数の比較



5月の貸出数の増加は、スタンプラリー企画が始まったことによる。1月から2月は、インフルエンザ感染防止のため図書室の利用制限があり、貸出が行えない期間があった。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

（１）本年度の成果

- 成果1 定期的に学級文庫の入れ替えを行うことができた。
- 成果2 高学年教室前の廊下に新聞コーナーを新たに設置したことにより、児童達が新聞を目にする機会が増えた。付箋紙のコメントも活発であり、設置をきっかけに図書室前の最新1週間前の記事を読みに来る児童の姿も多く見られた。
- 成果3 全ての図書は登録できなかったが、作業を進めることができた。

（２）来年度に向けた課題

- 課題1 電算化登録作業を完了させる。
- 課題2 おはなし会以外に図書委員会が主体となって行うイベントを企画する。
- 課題3 古くなった資料の積極的な廃棄作業を行う。